

「第69回NHK杯全国高校放送コンテスト」出場の、本校放送部の活躍を讃える

高塚 久司（高校25期普）

今年6月、「第69回NHK杯全国高校放送コンテスト」島根県予選にエントリーした出雲高校放送部は、以下の3部門で県代表として全国大会出場権を勝ち取りました。

アナウンス部門 内藤さん（3年）＊理数科の課題研究発表を取り上げた自校ニュース

朗読部門 川畑さん（1年）＊課題作品「よこまち余話」（木内昇）から一部を抽出した朗読

テレビドキュメント部門「最後の戦争遺跡」＊斐川町の旧海軍大社基地遺跡群を取材した番組

7月に入り、全国においてリモートでの全国大会準々決勝審査の対象となった模様です。今回は惜しくも上位進出はならず、東京での参集開催になった準決勝、NHKホールでの決勝にはコマを進めることができませんでした（ちなみに、今年度テレビドキュメント部門の全国応募総数は405作品、このうち全国大会参加は187作品で、準決勝に進出できたのは40作品でした）。とはいうものの、上位入賞校との差は僅かかと思われ、今後の精進、番組の更なる作り込みや、アナウンス・朗読の技術向上が望まれます。

まずもって、「NHK杯全国高校放送コンテスト」全国大会進出を果たされた放送部の皆さんのご活躍を讃えます。

次年度こそは、全国優勝を目指し努力を惜しまないでください。県内の他校放送部とも切磋琢磨し、NHKホールの舞台での発表、ホームページ成績一覧への校名記載が果たされますように願ってやみません。

2022年8月2日記す